

川田紙工株式会社

2018 年度 環境経営レポート

(対象期間：2018 年4月1日～ 2019 年3月31日)



作成日： 2019年5月10日
更新日： 2019年5月30日

目次

項 目	ページ
経営理念・考働指針	3
環境経営方針	4
事業所の概要	5
技術紹介	6
5年後の理想像	8
わが社の取り組み	9
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	11
主な環境負荷の実績	12
環境経営目標及びその実績	12
環境経営計画の取組結果とその評価	13
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無	20
外部からの環境上の苦情・要請等	20
緊急事態対応の試行・訓練	21
代表者による全体の評価と見直し・指示	22

経営理念・考働指針

経営理念

私たちは、より良いもの創りを追求し
安心と満足を提供し続ける企業を目指します。

私たちは、仕事を通じて、それぞれの夢を実現できる
働きがいのある企業を創ります。

私たちは、「つながり」を大切にし
豊かな社会を創造します。

～ 考 働 指 針 ～

「常に感じ、常に考える！」

- ・心を添えているか？
…その考働の一步先（お客様や仲間の笑顔）を想像しているか？
- ・誠実であるか？
…その考働は一貫しており、お客様や会社から信頼されるものか？
- ・情熱を持っているか？
…その考働の結果、心から「嬉しい！」や「悔しい！」と入れる姿勢で取り組んでいるか？
- ・創意工夫があるか？
…本質や課題を見つける目を養い、常に「より良い」を追求しているか？
- ・挑戦しているか？
…率先してトライ&エラーを繰り返し、その経験から気づきと学びを得ることで成長できているか？
- ・感謝の気持ちを持っているか？
…私たちを支えてくれるつながりに感謝し、ありがとうを発信できているか？
- ・主体者となれているか？
…これら全てのことに對して自ら率先して考働しているか？

結果として そこに「365日笑顔！」があるか？

環境経営方針

＜環境経営理念＞

当社は、紙製品の企画・製造・販売における環境負荷を全社員が認識し社会貢献の一貫として地球環境の破壊・汚染の防止に積極的に取り組むことで次世代への美しい環境を引き継ぐ活動を自主的に取り組みます。

＜環境保全への行動指針＞

1. 環境負荷に配慮したもの創りに取り組みます。
2. 消費電力、エネルギー使用から発生する二酸化炭素排出量の削減に取り組めます。
3. 資源を無駄なく活用するとともに、廃棄物削減に取り組めます。
4. 水使用量の削減に取り組めます。
5. 化学物質の適正管理に取り組めます。
6. 安心で安全な商品を効率よく提供します。
7. 環境に配慮した物品の選択に取り組めます。
8. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。
9. 当社の事業に関連する環境法規制と

当社が認めたその他の要求事項について順守します。

この環境経営方針を全社員に周知し、環境経営の継続的改善を実施します。

制定日：2016年10月1日

改定日：2019年4月10日



代表取締役社長

川田 昭彦

事業所の概要

更新日：2019年4月22日

■概要

社名	川田紙工株式会社
創業	昭和23年(1948年) 2月
設立	昭和32年(1957年) 5月
資本金	1,000万円
代表取締役	川田 昭宏
所在地	〒540-0027 大阪府中央区鍵屋町2-2-15
連絡先	TEL：06-6941-3438 FAX：06-6941-3498
環境管理責任者	取締役工場長 川田 秀治

■事業内容

紙器製造及びオリジナル紙製品の企画・販売
主要製品：化粧品のパッケージ、POP、オリジナル紙製品

■事業規模

	単位	2015年	2016年	2017年	2018年
売上高	百万円	289	283	259	279
従業員数	名	23	24	25	25
延べ床面積	m ²	1,748	1,748	1,748	1,748

■事業年度

4月1日～3月31日

■認証・登録範囲

登録組織名：川田紙工株式会社
対象事業所：本社
活動内容：紙器製造及びオリジナル紙製品の企画・販売

技術紹介

●トムソン課

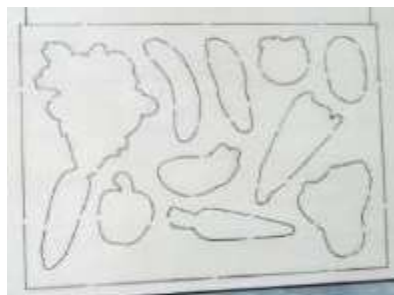
打ち抜き・トムソン加工と呼ばれる加工をしています。
パッケージ等の展開図の形に刃が埋め込まれた木型を使い、印刷物を型押しのように紙を一枚ずつ打ち抜いていく加工をしています！また、パッケージ等を立体的な形状に組み立てる際、きれいに折り曲がるように折罫線などを入れる加工をしています。



機械名	台数
B F -1270	2台
J F -1030	1台
J F -660	1台
ハイデル	2台



↑ 打ち抜き機 B F -1270



↑ 木 型

●仕上げ課

トムソン加工で抜かれた印刷物を、商品である必要な部分と、商品でない不要な部分に分けるというバラシ作業を行っています。百枚単位でのバラシ作業は力が必要ですが、機械を導入し女性でも作業できるようになりました！！



機械リスト	
機械名	台数
落丁機	
スピンドル	2台
トリミング	1台



↑ トリミング機
(ブラッキング マシンTXR1100)



↑ 落丁機
(スピンドル)

技術紹介

●サックマシン課

わが社の最終工程であるサックマシン課。ここでは、仕上げ課でバラされた商品を機械に通し、折罫線で折り糊付けを行い、箱の形になるよう加工しています。機械から出てきた商品は、不良がないか確認を行い梱包します。今期からカメラを導入し、品質管理を追求しています！



機械名	台数
GMS-1000	1台
G M -850	1台
G M -650	1台
HSG-300	1台



↑ H S G-3000



↑ カメラ

●営業部

営業部では、素材の選定からデザイン・設計・加工に至るまで、お客様のご要望に合った最適なパッケージとは何かを考え、企画提案しています。また、お客様の多様なご要望に迅速にお応えできるように、豊富な実績とサンプルを用いてご提案させていただきます。



企画会議 ↑

↓ 歴代オリジナルカレンダー



← サンプル集

5年後の理想像



わが社では毎年、「5年後の会社の理想像『夢』」を考える宿題があります。
全社員の理想や夢を文章にし、さらにわかりやすいように絵にしています。
私たちは「5年後の理想像」を目指し、日々考え・感じ・挑戦し続けています。

わが社の取り組み

☀ インターンシップ受け入れ

☀ 中学生職業体験受入れ

今期は初めて、地域の中学生の職業体験受入れを行いました。来てくれた中学生たちは、緊張しながらも一生懸命仕事をしていました！

中学生職業体験は会社として初めてのことだったので、社員もいい緊張感があったと思います。受入れの準備やどう伝えればわかりやすいか、など考えることによって社員も成長できたのではないのでしょうか。



わが社の取り組み

☀ 品質管理検定(QC検定)

わが社の社員が
2018年9月に実施された
品質管理検定(QC検定)を受検し
見事3級に合格しました！！！！

わが社では、QC検定を受ける社員が
ぞくぞくと増えています！！

2級 合格 0名 3級 合格 1名



☀ 展示会出展

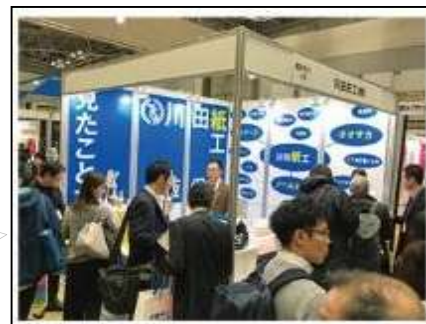
わが社は、毎年展示会に出展しています。
今年は、大阪勧業展、メッセナゴヤ2018、
プレミアム・インセンティブショー春2019の
3回の展示会出展を行いました！！



2019年版の
オリジナルカレンダー「RIN (輪)」です！
カレンダー本体が無限にぐるぐる回転します！

これまでのオリジナル紙製品です。
オリジナル紙製品プロジェクトを
社内で作成し、試行錯誤を繰り返し
製品を一から作っています。

展示会の様子！
「プレミアム・インセンティブショー春



わが社の取り組み

☀ 委員会活動

わが社では、3つの委員会があり、自分の入りたい委員会に入り活動しています。

- ・ レクリエーション委員会 … 会社イベントを企画し、社員同士の親睦をさらに深める場を提供する委員会。
- ・ 広報委員会 … 社員同士のコミュニケーションがより深まるような社内広報誌を定期的に発行する委員会。
- ・ one UP委員会 … 全社員が共に育つ「共育」を目的とし、社員の成長に繋がる取り組みを推進する委員会。



レクリエーション委員会企画 「BBQ！！」



広報委員会発行 「必笑しんぶん」



one UP委員会活動 「化学反応」

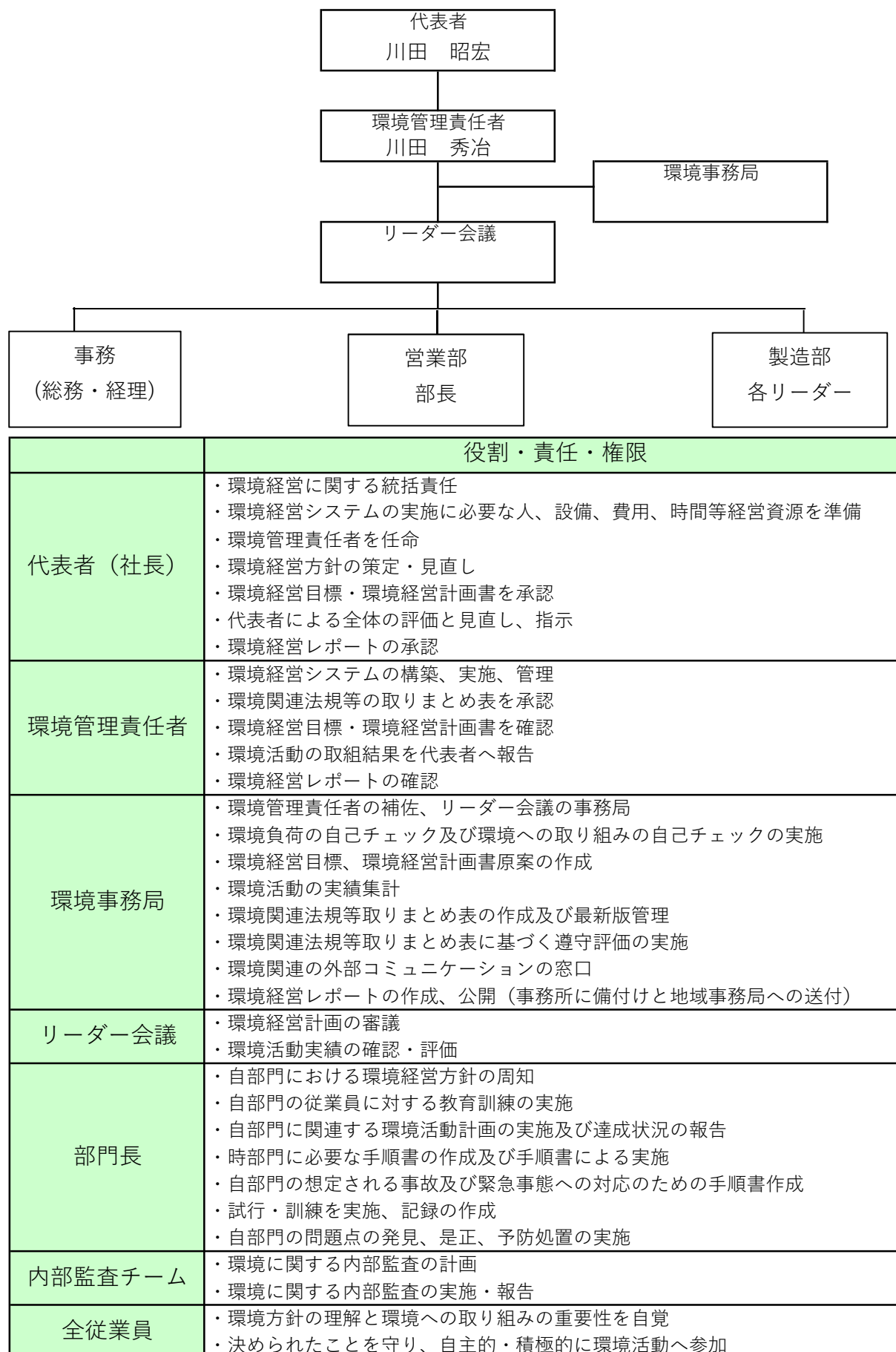
◀ 化学反応とは、“社内の改善したいこと”を気が付いた社員が書き出し、手が空いている社員が改善するもの。

one UP委員会活動
「笑😊顔チャレン」

個人目標の進捗度合の見える化



環境経営組織図及び役割・責任・権限表



主な環境負荷実績

項 目	単位	2016年	2017年	2018年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	102,318	94,055	87,153
廃棄物排出量	K g	112,752	87,510	81,380
一般廃棄物排出量	K g	2,882	2,600	1,840
産業廃棄物排出量	K g	109,870	84,910	79,540
総排水量	m ³	941	945	945

※二酸化炭素排出係数 0.496 kg-CO₂/kWh 電力会社の調整後の係数

※産業廃棄物は紙屑であり再生加工許可工場に再生資源として売却しているものは含まない。

主な環境負荷実績

年 度 項 目		基準値	2018年		評 価	2019年	2020年
		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	90,447	86,829	80,140	○	80,497	79,593
	基準年度比	2015年	96%	89%		89%	88%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	74,316	59,452	78,715	×	74,316	74,316
	基準年度比	2015年	80%	106%		100%	100%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	164,762	146,281	158,855		154,813	153,909
一般廃棄物の削減	kg	2,882	2,680	1,840	○	2,680	2,594
	基準年度比	2016年	93%	64%		93%	90%
古紙以外の紙類の削減	kg	105,320	100,054	79,540	○	78,990	77,937
	基準年度比	2015年	95%	76%		75%	74%
水道水の削減	m ³	816	816	945	×	816	816
	基準年度比	2015年	100%	116%		100%	100%
化学物質の適正管理	少量のため活動目標						
グリーン購入の推進	備品、家電、車両など環境に配慮した購入活動						
予備紙の削減・環境に配慮した製品への取り組み	行動目標（次項による）						

* 都市ガスは二酸化炭素排出量の2%程度であるため削減目標は設定しない。

環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標：○達成 ×未達成

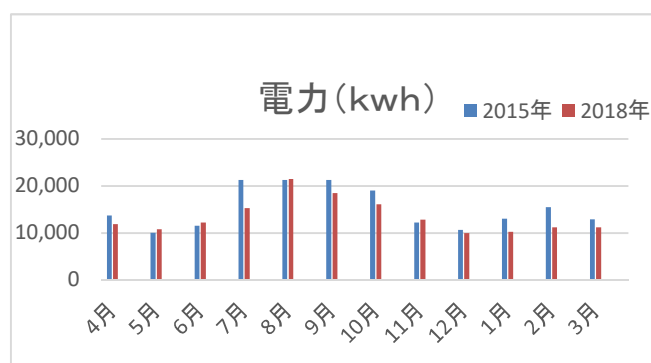
活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減

電力による二酸化炭素削減	達成状況
数値目標	○
・空調温度の適正化(冷房26℃ 暖房23℃)	△
・不要照明の消灯	○
・作業予定表の作成と運用	○
・生産工程の待機時間短縮(材料待ち)	○
・機械メンテナンス表の作成・実施	○

取組結果とその評価、次年度の取組内容
作業予定表を、3日間の予定から1ヶ月の予定へと変更し、運用したこと。作業材料の入荷の有無をわかりやすくしたことで、作業を中断するなどの無駄時間が削減できた。また、今年は事務所クーラーを買い替えたことで電力使用を削減できた。よって、目標96%に対して、89%という結果になり目標を達成することができた。来期の目標は、今期の結果と同じ89%を目指す。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2015年	13,671	10,045	11,486	21,307	21,307	21,302	19,020	12,209	10,655	13,038	15,454	12,858
2018年	11,911	10,763	12,223	15,275	21,488	18,484	16,081	12,815	9,957	10,236	11,188	11,152



環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標：○達成 ×未達成

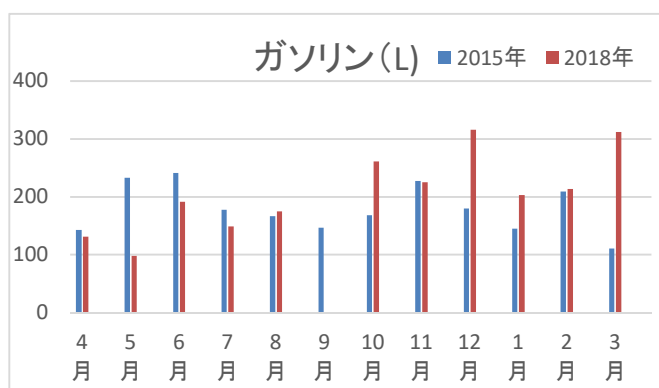
活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

自動車燃料による二酸化炭素削減

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況
数値目標	×
・事故、クレームの低減	○
・効率的なルートで配送	△
・共同配送の実施	△

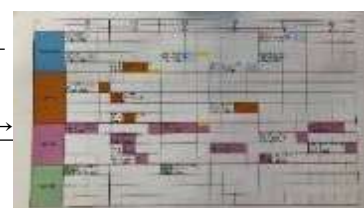
取組結果とその評価、次年度の取組内容
目標80%に対し、106%という結果となった。10月から営業車を1台増やし、自動車数が3台から4台に増えたこと。また、新しい仕事や新規得意先の増加により、打合せが増えたことが、目標未達成の要因であると考えられる。さらに、納期に間に合わず営業車で配送することもあるため、来期は予定管理を徹底し目標100%とする。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2015年	143	233	241	178	166	147	168	227	180	145	209	111
2018年	131	98	191	149	175	0	261	225	316	203	214	312



トヨタ課作業予定 ↑

サクラ課作業予定 →



環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標: ○達成 ×未達成

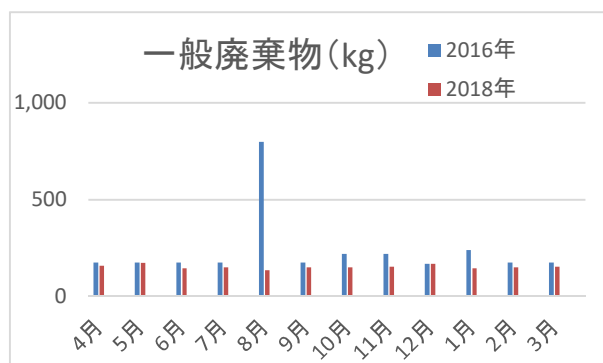
活動: ◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

一般廃棄物の削減

一般廃棄物の削減	達成状況
数値目標	○
・分別の徹底	○
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	○
・帳票見直しによる印刷物の削減	○
・梱包材の再利用	△

取組結果とその評価、次年度の取組内容
仕事が増えればPPバンド、ラップの使用量も増加する。今期はPPバンドやラップ以外に商品を保護して移動する方法を実践した。今後も続けていく。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2016年	176	176	176	176	800	176	220	220	170	240	176	176
2018年	160	175	145	150	135	150	150	155	170	145	150	155



環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標: ○達成 ×未達成

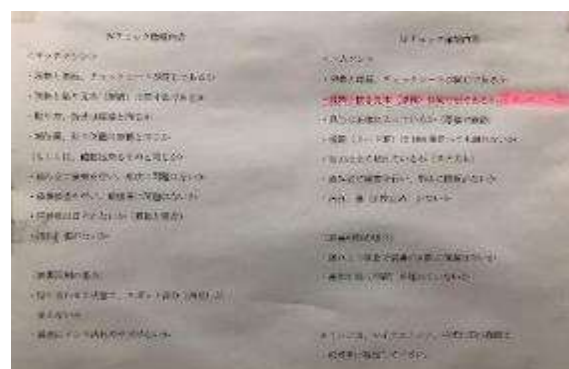
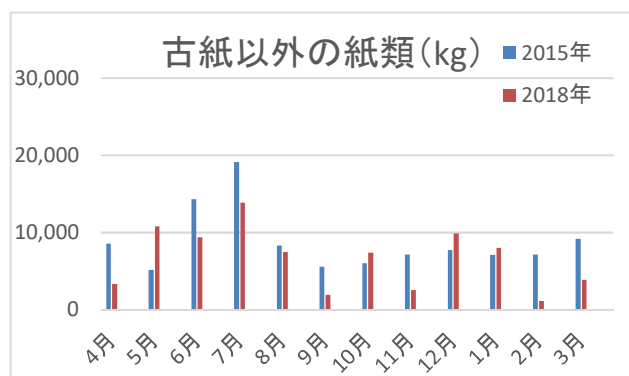
活動: ◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

古紙以外の紙類の削減

古紙以外の紙類の削減	達成状況
数値目標	○
・作業ミスによる廃棄量の削減	○
・素材別ボックスの設置	○
・作業チェックシートの改良	○

取組結果とその評価、次年度の取組内容
目標95%に対し、76%という結果は、前期から行っている事務所での作業前Wチェックにより、作業者の見落としや不良事故が減少したことで、補刷事故も減少したと考えられる。来期は75%を目標とする。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2015年	8,550	5,170	14,310	19,100	8,310	5,560	6,060	7,130	7,740	7,100	7,120	9,170
2018年	3,330	10,800	9,380	13,830	7,500	1,880	7,390	2,560	9,880	8,010	1,120	3,860



↑ Wチェック確認内

環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標: ○達成 ×未達成

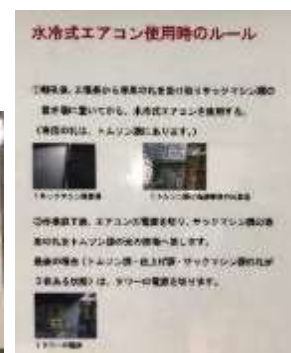
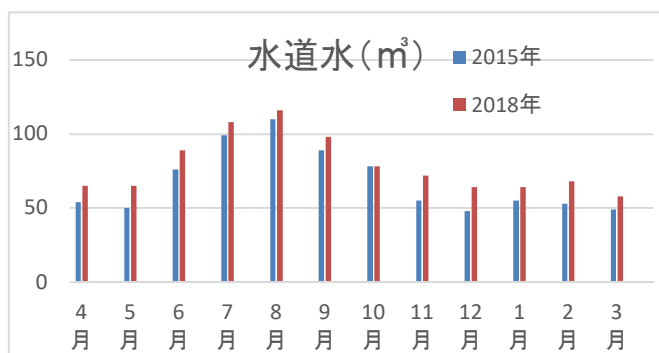
活動: ◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

水道水の削減

水道水の削減	達成状況
数値目標	×
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	×
・節水弁取り付け	×
・自動水栓取り付け	×

取組結果とその評価、次年度の取組内容
目標100%に対し、116%という結果となった。水冷式エアコン使用時期に関係なく、水使用量が増加している。来期は、節水シールの貼り付けやポスターの掲示を行い、全社員に節水を意識させる。目標は100%。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2015年	54	50	76	99	110	89	78	55	48	55	53	49
2018年	65	65	89	108	116	98	78	72	64	64	68	58



環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標: ○達成 ×未達成

活動: ◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

化学物質の適正管理

化学物質の適正管理	達成状況
数値目標	○
・容器の蓋の徹底	○
・代替物質の検討	△

取組結果とその評価、次年度の取組内容
化学物質の定位置管理、容器の蓋を閉めることを徹底している。



グリーン購入推進

グリーン購入の推進	達成状況
数値目標	×
・二酸化炭素排出係数の少ない電力の検討	○
・省エネ性能の高い電気製品の購入	△
・燃費のよい自動車の採用	×
・事務用品のグリーン購入の推進	○

取組結果とその評価、次年度の取組内容
引き続き代替品の検討を行う。

環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標: ○達成 ×未達成

活動: ◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

予備紙の削減・環境に配慮した製品への取り組み

予備紙の削減・環境に配慮した製品への取り組み	達成状況
・作業ミスによる廃棄量の削減	○
・型抜き作業の調整の効率化(回数削減)	△
・貼り作業の調整の効率化(回数削減)	△
・作業確認チェックシートを活用出来る仕組みづくり	○

取組結果とその評価、次年度の取組内容
機械セット時のペケ紙の削減、また機械セット変えの時間の削減のため、よく似た形状・サイズをできるだけ同一ラインで製造する予定を組み、実践を行った。来期も継続し、作業ミスによる廃棄量の削減を目指す。

課題を解決しチャンスを活かす取組

課題を解決しチャンスを活かす取組	達成状況
・技術の継承	○
・企業PRによる顧客獲得	○
・事業拡大のための資金調達、人材確保	○
・新製品・商品開発	○

取組結果とその評価、次年度の取組内容
技術力UPのための社内勉強会を各工程で年3回行った。また、FacebookやInstagramなどSNSを活用し企業を知ってもらう活動を行っている。さらに、オリジナル紙製品の作成を行っている。来期も改良を加え進めていく。

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（古紙以外、廃プラ）
労働安全衛生法	SDS評価（シンナー、糊）
騒音規制法	空気圧縮機
振動規制法	空気圧縮機
消防法（危険物）	消防設備（消火器、警報装置など）
フロン排出抑制法	業務用空調機
顧客要求事項	要求品質と納期の厳守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去３年間ありませんでした。

外部からの環境上の苦情・要請等

2018年度はありませんでした。

緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定：災害にそなえて	
■ 実施日：	2019/1/19
■ 実施場所：	中大江小学校
■ 参加者：	全社員
■ 実施内容：	☐ 通報訓練 ☒ 消火訓練 ☐ 避難訓練 震災について（DVD上映） / 起震車で震度7を体験 / 火災時避難訓練
■ 評価：	近隣小学校で行われる避難訓練に参加した。南海トラフ地震や震災についての説明を受け、地震に関する知識を得ることができた。また、一人ひとりが災害について考え、災害に備えるためにはなにが必要かなど考えるいい時間になったのではないかと感じる。今年は、起震車で震度7を体験することができ地震や震災、防災について考えるにあたり、いい体験になったと感じる。
手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし	
■ 実施状況の様子	
 	

代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2019/4/10

【前回の指示への取組結果】		
<情 報>		<見直し・指示>
◇自社を取り巻く環境問題の変化 (社会的情勢、利害関係者の要求等) 納期対応に問題があり、これまでの3日間の作業 予定表を月ベースにしたこともあり、電力使用 量は89%と目標数値を大きく達成することと なった。		◇環境方針 2019.4.10改訂が最新版です。 赤字部分を追記変更。
◇環境経営目標・計画の達成状況 環境経営レポートで説明通り		◇環境経営目標・環境経営計画 2018年度の実績を踏まえて次年度の目標値の設 定と目標達成に向けて取り組む。
◇その他 ・ 利害関係者からの苦情・要請等 ・ 騒音規制法（空気圧縮機コンプレッサー 3.7kw）が対象としており大阪市職員による現地 調査済み。		◇実施体制他 来期は、エコアクションやBCPの活動を推進す る委員会を立ち上げ、委員会の活動によって、 エコアクションの取り組みを社内へ浸透させて いく。
今期は、作業予定の管理強化や作業効率を上げるための改善、機械メンテナンスの定期実施などによ って無駄を省く活動が進み、ロス時間や廃棄物の削減につなげることができたと感じています。し かしながら、環境経営に対する意識の浸透が全社的に行われていると言うには、まだまだ不十分であ ると言わざるを得ないのが現状です。これは、その取り組みが部分的なものとなっており、全社員へ 広める仕組みや活動が行われてこなかったことが原因であると思います。来期からは、新たな委員会 を立ち上げ、委員会によって活動を推進していくことで、SDG sを見据えた環境経営への取り組みを 進めていきます。		

環境経営方針 ☒ 変更なし
 環境経営目標・計画 ☒ 変更なし
 実施体制 ☒ 変更なし

☐ 変更あり ☐ ○○
☐ 変更あり 実績を踏まえて見直す
☐ 変更あり